

平成 26 ( 2014 ) 年度 教員活動報告書 ( 1/7 )

学部・学科	臨床心理学部・教育福祉心理学科		職名	教授	氏名	テラダ ヒロユキ 寺田 博幸
学歴	平成50年 3月 立命館大学法学部 ( 刑事訴訟法 ) 卒業 平成51年 3月 佛教大学教育学部 通信教育課程 修了					
学位	平成50年 3月 法学士 ( 立命館大学 第17859号 )					
専門分野	生活科、総合的な学習					
専門資格	中学校教諭一種免許状 ( 社会 ) ( 昭四九中一普め第二六三三号 ) 高等学校教諭一種免許状 ( 社会 ) ( 昭四九高二普め第二一七七号 ) 小学校教諭一種免許状 ( 平四小 - け第一〇七一号 )					
所属学会	日本生活科・総合的教育学会、日本教育実践方法学会					
受賞						
担当授業科目	初年次演習、臨床心理学基礎演習、教育福祉心理学概論、教育福祉心理学実践演習 ( 学校インターンシップ )、教育福祉心理学実践演習 ( 学校インターンシップ )、教育福祉心理学演習、教育福祉心理学演習、生活、初等教科教育法 ( 生活 )、臨床心理学研究法演習、臨床心理学研究法演習					
論文指導						
F D 活 動 ・ 教 育 実 績	科目名	科目カテゴリー	実施学期	履修者数		
	生活	講義・演習・実習・実験	春・秋	53名		
	<p>授業の概要：教科としての生活は、子どもの主体性を育てる教科である。生活科は、体験を通して能動的な学習を繰り返しながら、気付きを深め探究心を育てていくことに意義がある。その意義を理解するため、本講義では、具体的な体験や活動を取り入れ、ディスカッションしながら教科内容に迫っていく。</p> <p>教育活動の振り返り 教育活動の成果： 1 自由記入に記された受講生の声から、生活科の内容を理解し、生活科の意義に迫っていったことがうかがえる。講義には、生活科の扱う体験や活動を取り入れるとともに、小集団によるディスカッションを行いながら受講生の能動的な学習を引き出し、実のある講義となった。 今後の課題： 小集団によるディスカッションや、実習を取り入れる場合、教室環境も重要である。そのため、模擬授業室のような個々の机が配列されるなどの方が望ましい。 1限の講義である。教員を目指す受講生が能動的な学習を行うためにも、心身の疲れを持ち越すことない生活習慣を確立させていくことが大切である。</p>					
	科目名	科目カテゴリー	実施学期	履修者数		
	教育福祉心理学演習	講義・演習・実習・実験	春・秋	17名		
	2 授業の概要：「地域と環境」「人間関係と人権」「メディアリテラシーとテクノロジー」「こころの課題」といった現代的な教育課題について、4教員グループによるオムニバス形式による講義、並びにディスカッションを行う。					

平成 26 (2014) 年度 教員活動報告書 (2/7)

	<p>教育活動の振り返り 教育活動の成果： 自由記入に記された受講生の声から、本講義から幅広い専門的な知識を得たことを知ることができる。オムニバス形式ではあるが、教員のチーム力によって、受講生に教員としての素養のもととなる専門性が育っていることを実感している。</p> <p>今後の課題： オムニバス形式では、教員間における事前の十分な話し合いが大切である。受講生に教師としての心理学的素養を養うため、教員の専門性を生かした講義について共通理解を図りながら、丁寧な授業の展開につなげていきたい。</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">F D 活 動 ・ 教 育 実 績</p>	<p>・学内外のFD関連講演会/セミナー等への参加実績</p> <p>平成26年 5月24日・25日 全国私立大学教職課程研究連絡協議会 2014年度定期総会・第34回研究大会、於：帝京平成大学池袋キャンパス</p> <p>平成26年 6月21日 NEW EDUCATION EXPO 2014、於：大阪マーチャングイズ・マーケット</p> <p>平成26年11月 2日 全国私立大学教職課程研究連絡協議会 2014年度「教職課程運営に関する研究交流集会」、於：北海学園大学 豊平キャンパス、ホテルライフオート札幌</p> <p>平成27年 2月13日 京都地区大学教職課程協議会 第4回京都地区大学教職課程協議会運営委員会、於：京都栄養医療専門学校</p> <p>平成27年 2月19日 学内 COC事業研修会「『ひろみらプロジェクト』の学び～活動紹介と今後の展望について～」(広島修道大学・副学長 山川肖美氏)、於：京都文教大学</p> <p>平成27年 2月26日 学内 IRに関する研修会「IRの概要と事例～中小規模の大学が取り組むIRのあり方～」(独立行政法人大学評価・学位授与機構・研究開発部・准教授 森利枝氏)、於：京都文教大学</p>
	<p>・教育効果が高い、あるいは教育の一環として行われている課外活動等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教育実習受入れ、並びに学校インターンシップ受入れについて、京都市教育委員会教員養成支援室、宇治市教育委員会一貫教育課を訪問して打ち合わせを行う。</li> <li>・ 教育実習受入れ、並びに学校インターンシップ受入れについて、京都市小学校長会、京都市小学校長会事務局、宇治市小学校長会役員会、宇治市小学校長会を訪問して打ち合わせを行う。</li> <li>・ 学校インターンシップ配置校を訪問し、学生の取組状況を把握するとともに、学生への指導を行う。</li> </ul>
<p>H26 年度 研究課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 気付きの質が高まり、学ぶ意欲が育つ生活科学学習の展開を探る 支援を必要とする子どもの視点から</li> <li>2. 児童が主体的に取り組む総合的な学習の時間の学習指導法を探る 支援を必要とする子どもの視点から</li> </ol>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">平成 二 十 六 (2014) 年 度 の 研 究 活 動 の 概 要</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 平成25年度の研究を継続し、「教えられる学習、受動的な学習」から「子どもが自ら学ぶ学習」へと転換を図るため、能動的な学習に導く教科指導法の研究を進めてきた。そのため、学会や研究会などの授業提案に参加し、情報を収集分析し、新たな提案となるように資料作成を行った。また、教育現場で関心の高い特別支援教育と教科教育の全体を見通した指導の在り方を進めてきている。次年度に継続させて、情報の収集と分析を行っていく。</li> <li>2. 教科等の指導や学級経営において、特別支援教育の視点から支援の必要な子どもの適切な支援や子どもとのかかわり方について、小学校や特別支援学校の協力を得て研究を進めてきた。次年度に継続する。</li> </ol>

平成 26 (2014) 年度 教員活動報告書 (3/7)

<p>平成二 十六 (2014) 年度 S 研究 活動 の 概 要</p>	<p>3. 次期教科書改訂に向けて書籍会社の編集にかかわり、学ぶ意欲を引き出すためのポイントなどについて改善を図るなど協議を重ね提言を行った。また、教材会社の協力を得て、気付きの質を高め言語活動を充実させる児童向けワークシートや教師用書の作成と編集を行った。次年度、ワーク図鑑の編集を継続していく。</p> <p>4. 書籍会社の協力を得て、若年教員、教員を目指す学生を対象にした「教師になる前に知っておきたい! 学校生活がわかる! 教師実用マニュアル」を作成し、平成27年1月に刊行した。後述：(著書)3 生活科の学習指導展開と学級経営の在り方、とりわけ、特別支援教育の視点から解説を加えている。</p> <p>5. 書籍会社の協力のもと、本大学こども教育心理専攻の教員とともに、インクルーシブ教育の視点から学級の全ての児童が学習に主体的に取り組み、お互いに尊重し合える互恵的な学びを目指した学習モデルの作成を行った。</p>
<p>平成二 十六 (2014) 年度 の 主 な 研 究 成 果 等</p>	<p>(著書)</p> <p>1. 生活・総合部会「気付きの質が高まり、学ぶ意欲が育つ生活科学集の展開」、共著(当該部分担当) 平成26年6月、第22回「授業実践フォーラム」一般財団法人総合初等教育研究所主催・文部科学省後援、「これから求められる教師の力とは～根拠をもって考え表現し、行動できる子を育てる～」(pp.62-67,117p)</p> <p>2. 「Chapter6 生活科授業&amp;学習のユニバーサルデザイン」「Chapter10 総合的な学習の時間のユニバーサルデザイン」、共著(当該章担当) 平成26年9月、明治図書、亀岡正睦編著、『小学校の学びを変える! 授業と学習のユニバーサルデザイン』(pp.102-111,142-151)</p> <p>3. 「生活(9 各教科の指導)」「11 特別支援を必要とする子どもへの指導・支援」「17 学校評議員制度と学校運営協議会」「19 心のケア」、共著(当該部分担当) 平成27年1月、小学館、『教師になる前に知っておきたい! 学校生活がわかる! 教師実用マニュアル』pp. 148-157,183-189,220-221,236-237,247p)</p> <p>(論文)</p> <p>(学会報告、学会活動)</p> <p>1. 「日本生活科・総合的学習教育学会 平成26年度 第23回全国大会 埼玉大会 地域世話人会シンポジウム」平成26年6月、大宮ソニックシティ小ホール</p> <p>2. 「日本生活科・総合的学習教育学会 京都支部理事会 学習会」(支部長) 平成26年7月、京都市立元町小学校</p> <p>3. 「日本教育実践方法学会 研究大会 理事会 総会」(副会長) 平成26年9月、関西福祉大学</p> <p>4. 「日本生活科・総合的学習教育学会 京都支部理事会 学習会」(支部長), 平成26年12月、京都文教大学</p> <p>5. 「日本生活科・総合的学習教育学会 第7回京都フォーラム」(支部長) 平成27年2月、講師：関西福祉大学長 加藤明氏・文部科学省初等中等教育局教科調査官 田村学氏、京都市立御所南小学校</p> <p>6. 「日本教育実践方法学会 教育実践フォーラム」(副会長) 平成27年3月、京都文教大学</p> <p>7. 「副会長寄稿『日本教育実践方法学会に熱い期待を込めて』」、平成27年3月、日本教育実践方法学会T学会誌創刊特別号(2p)</p> <p>(その他、エッセイ・翻訳・学術講演等)</p> <p>(調査活動)</p> <p>平成26年 8月 教育セミナー関西(於：和歌山県総合教育センター 田辺市)に参加し、特別支援教育、生徒指導の取組について情報収集を行う。</p> <p>平成26年10月-11月 北海道夕張市教育委員会、並びに夕張市立夕張小学校訪問し、過疎化、少子化に拍車がかかる自治体、学校から地域創生にかかわる総合的な学習の取組状況、研究成果と課題等について情報収集を行う。また、夕張炭鉱郷土館や富良野郷土館を訪ね、酪農等、地域再生について情報の収集を行う。</p>

平成26(2014)年度 教員活動報告書(4/7)

平成二十六(2014)年度の主な研究成果等	<p>(調査活動 つづき)</p> <p>平成27年 2月 長野県伊那市立伊那小学校の研究発表会に参加し、総合学習の成果について情報収集を行う。また、伊那市高遠町歴史博物館、民俗学博物館を訪ね、伊那地方に伝わる伝統文化についての情報収集を行う。</p>
	<p>(学外研究資金による研究活動・科学研究費補助金等含)</p> <p>平成26年度文部科学省「地(知)の拠点整備事業」(大学COC事業):</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域志向教育研究(ともいき研究助成事業)である官学連携による「宇治学」副読本作成と現場での活用に関する研究に取り組み、指導資料作成や指導計画の作成を行う。</li> <li>・ 地域志向教育研究、小中一貫教育に先進的に取り組む青森県東通村教育委員会、東通小学校・中学校の教育を視察し、小中一貫教育における総合的な学習の在り方、地域の方々のかかわり、体験活動における教育委員会の支援などの情報収集を行う。また、東通村の教育を考える上で環境・エネルギーが重要な要素となるが、環境と地域のかかわりについて、情報収集を行う。</li> <li>・ 地域志向教育研究(ともいき研究助成事業)である「まきしま絆の会、宇治市、京都文教大学が紡ぐ地域連携の創造」 地域と結びつく親と子の絆づくり、子どもへの学習支援 の取組</li> </ul>
	<p>(学内活動)</p> <p>教務委員会委員</p>
平成二十六(2014)年度の社会における活動	<p>(自治体、行政等 官公庁からの委託事業や委員の囑託)</p> <p>平成26年 4月 京都市教育委員会より特別訪問指導員(生活科・総合的な学習にかかわる研究校への指導助言)を委嘱「平27.3まで」</p> <p>平成26年 7月 平成26年度夏期教員免許更新講習講師(共同)、「教育の最新事情(初等教育)」、於：京都文教大学</p> <p>平成26年 8月 平成26年度夏期教員免許更新講習講師、「気付きの質が高まり、学ぶ意欲が育つ生活科学習の展開」、於：京都文教大学</p> <p>平成26年10月 平成26年度秋期教員免許更新講習講師(共同)、「教育の最新事情(初等教育)」、於：京都文教大学</p> <p>平成26年12月 平成26年度秋期教員免許更新講習講師、「気付きの質が高まり、学ぶ意欲が育つ生活科学習の展開」、於：京都文教大学</p>
	<p>(NPO法人等の団体への参画)</p> <p>平成26年度 「マキシマネットワーク特定非営利活動法人まきしま絆の会」と協働した地域連携の創造を目指し、地域志向教育研究を行う。</p>
	<p>(自治体や企業における研修等の講師)</p> <p>平成26年 6月</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 第22回授業実践フォーラム、生活科・総合部会講師、対象：幼・小・中・高教員、「これから求められる教師の力とは ~根拠をもって考え表現し、行動できる子を育てる~」、於：羽島市文化センター</li> <li>2. 京都市立納所小学校 校内研修講師</li> <li>3. 京都市立藤ノ森小学校 校内研修講師</li> </ol>
	<p>平成26年 7月 京都市立伏見板橋小学校 校内研修講師</p> <p>平成26年 8月</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 宇治市生涯学習センター『確かな学びを創る宇治学(小中連携による総合的な学習)』における小学校3年生から中学校3年生までを見通した目標設定や単元構想、評価の在り方について講演</li> <li>2. 宇治市教育委員会、「総合的な学習」夏季研修会講師、於：宇治市生涯学習センター</li> <li>3. 奈良県教育委員会、「生活科・総合的な学習」夏季研修会講師、於：奈良市立三碓小学校</li> </ol>

平成 26 (2014) 年度 教員活動報告書 (5/7)

<p>平成二十六年(2014)年度の社会における活動</p>	<p>(自治体や企業における研修等の講師 つづき)</p> <p>平成26年10月 京都市立上賀茂小学校 校内研修講師</p> <p>平成26年12月 1. 京都市立山階小学校 研究発表会講師 2. 京都市立藤ノ森小学校 研究発表会講師</p> <p>平成27年 1月 京都市立藤ノ森小学校 校内研修講師</p> <p>(その他)</p> <p>平成26年 6月 京都教育大学非常勤講師(「教育セミナー教員採用試験対策面接, 模擬授業」) 「平26.8まで」</p> <p>平成26年 4月 立命館大学非常勤講師(「生活科教育法SA」)「平26.7まで」</p> <p>平成26年 7月 平成26年度京都文教公開講座「京都文教教養講座」・臨床心理学部テーマ:「心・体・命」講師、「シニア世代発「郷土愛を次世代へ」～シニアのパワーと真心が紡ぎ出す人間愛を「おすそ分け」～」於: 京都文教大学</p> <p>平成26年 9月 立命館大学非常勤講師(「生活科教育法SB」)「平27.2まで」</p>
<p>平成二十一年(2009)～二十五年(2013)年度の主な研究成果等</p>	<p>(著書)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「生活科・総合的な学習の部会」, 共著、平成21年8月、日本教育新聞社、教育セミナー関西2009「新教育課程とこれからの学校～習得・活用・探究型学力, 言語力の育成と評価～」(pp.90-103, 221p)</li> <li>2. 生活・総合部会「気付きの質が高まり, 学ぶ意欲が育つ生活科学集の展開」, 共著(当該部分担当) 平成25年6月、第21回「授業実践フォーラム」一般財団法人総合初等研究所主催・文部科学省後援、「今、子どもたちに付けるべき力とは～日々の授業実践で何をどうしていか～」(pp.40-48, 100p)</li> </ol> <p>(論文)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 『研究集録第20集「探究心をわきたたせ, 確かな学びを創る子ども」(京都市教育委員会研究委託事業)』, 共編著、平成22年3月、京都市小学校生活科・総合的な学習教育研究会・京都市教育委員会 (pp.1-17, 147p)</li> <li>2. 『研究収録第21集 探究心をわきたたせ, 確かな学びを創る子ども(京都市教育委員会研究委託事業)』共編著、平成23年3月、京都市小学校生活科・総合的な学習教育研究会・京都市教育委員会 (pp.1-22, 118p)</li> </ol> <p>(学会報告、学会活動)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「「新教育課程とこれからの学校」 習得・活用・探究型学力, 言語力の育成と評価」, 共著、平成21年8月、日本教育新聞 教育セミナー関西2009 人間教育実践交流会「2009神戸フォーラム」(pp.90-103, 221p)</li> <li>2. 学会「大会テーマ: “熱く語ろう! in Kyoto”～生活科・総合的な学習でどんな力を育てるのか～」, 共同、平成22年6月、日本生活科・総合的な学習教育学会第19回全国大会京都大会、立命館小学校他</li> <li>3. 「「確かな学力とこころの教育」 新教育課程とその実践」, 共著、平成23年8月、人間教育研究協議会、芦屋フォーラム2011 (pp.58-61, 91p)</li> <li>4. 「学力向上とことばの力」, 共著、平成24年8月、人間教育研究協議会、pp.67-71, 77p</li> <li>5. 「日本生活科・総合的な学習教育学会 京都支部理事会、学習会」(支部長)、平成25年6月、京都市立衣笠小学校</li> <li>6. 「日本生活科・総合的な学習教育学会 第22回兵庫大会」(自由研究発表第23分科会コメンテーター)、平成25年6月、神戸大学附属小学校・中学校・兵庫県立明石高等学校他</li> <li>7. 「日本生活科・総合的な学習教育学会 京都支部理事会、学習会」(支部長)、平成25年9月、京都市立衣笠小学校</li> <li>8. 「日本生活科・総合的な学習教育学会 シンポジウム」(参加)、平成25年11月、立教大学池袋キャンパス</li> </ol>

平成 26 (2014) 年度 教員活動報告書 (6/7)

平成二十一～二十五 (2009～2013) 年度の主な研究成果等	<p>(学会報告、学会活動 つづき)</p> <p>9. 「日本生活科・総合的学習教育学会 京都支部フォーラム」(支部長) 平成26年3月、講師：文部科学省初等中等教育局教科調査官 田村学氏、京都市立衣笠小学校</p>
	<p>(その他、エッセイ・翻訳・学術講演等)</p> <p>報告：</p> <p>1. 「こども教育心理専攻1回生の学生ボランティア奮闘記」、共著、平成26年3月、京都文教大学心理社会的支援研究第4集 (pp.141-145)</p>
	<p>(調査活動)</p> <p>平成25年 6月 「生活科・総合的学習の指導」研究調査、於：兵庫県立明石高等学校</p> <p>平成25年 8月 1. 「教育セミナー関西2013」研究調査、於：姫路市市民会館 2. 「人間教育実践交流会フォーラム」研究調査、於：内田洋行ビル(大阪市)</p> <p>平成25年 9月 「生活科・総合的学習の指導」研究調査、於：京都市立衣笠小学校</p> <p>平成25年11月 1. 「生活科・総合的学習の指導」調査研究、於：京都市立桂徳小学校 2. 「生活科・総合的学習の指導」調査研究、於：京都市立御所南小学校 3. 「生活科・総合的学習の指導」研究調査、於：立教大学池袋キャンパス 4. 「生活科・総合的学習の指導」研究調査、於：京都市立西院小学校</p> <p>平成25年12月 「生活科・総合的学習の指導」研究調査、於：京都市立西院小学校</p> <p>平成26年 1月 「特別支援教育」研究調査、於：東京学芸大学附属特別支援学校</p> <p>平成26年 2月 1. 「教育課程の開発、生活科・総合的学習の指導」研究調査、於：上越市立大手町小学校 2. 「総合的な学習」伝統文化を探る 研究調査、於：石田福治氏宅、新井克雪管理センター 地域のこし協力隊 石川仁美氏宅) 3. 「学び合う授業の創造」研究調査、於：八王子市立宇津木台小学校</p>
	<p>(学外研究資金による研究活動・科学研究費補助金等含)</p>
	<p>(学内活動)</p> <p>平成25年 4月 高大連携委員会委員「平26.3まで」</p>
平成二十一～二十五 (2009～2013) 年度の社会における活動	<p>(自治体、行政等 官公庁からの委託事業や委員の囑託)</p> <p>平成 3年 4月 京都市小学校生活科・総合的な学習教育研究会(会長「平19.4より平22.3まで」) (京都市教育委員会研究委託事業：探究心をわきたたせ、確かな学びを創る子ども)</p> <p>平成20年 4月 京都市小学校教育研究会(会長「平21.4より平22.3月まで」)</p> <p>平成22年 4月 京都市教育委員会総合育成支援課 専門主事 特別支援教育担当「平25.3まで」</p>
	<p>(小中高との連携授業の講師)</p> <p>平成25年 6月 京都文教高等学校模擬授業「生活科・総合的な学習」、於：京都文教高等学校</p>
	<p>(自治体や企業における研修等の講師)</p> <p>平成25年 6月 幼・小・中・高教員対象フォーラム「子どもたちに付けるべき力とは～日々の授業実践で何をどう指導していくのか」、於：羽島市文化センター</p> <p>平成25年11月 京都市立西院小学校 校内研修講師</p> <p>平成25年12月 幼・小・中・高教員対象研究発表「自他を大切にし、よりよく生きる子どもの育成～仲間と共に、学び合う子～」総合的な学習部会(指導助言) 於：京都市立西院小学校</p>
	<p>(その他)</p> <p>平成20年 4月 京都教育大学非常勤講師(「初等生活科教育」)「平25.3まで」</p> <p>平成22年 6月 京都教育大学非常勤講師(「教育セミナー」)「平22.8まで」</p>

平成 26 (2014) 年度 教員活動報告書 (7/7)

平成二十五年(2013)年度の社会における活動	(その他 つづき)
	平成23年 6月 京都教育大学非常勤講師(「教育セミナー」)「平23.8まで」
	平成24年 6月 京都教育大学非常勤講師(「教育セミナー」)「平24.8まで」
	平成23年 9月 立命館大学非常勤講師(「学校カリキュラム論」,「生活S」,「生活科教育法」) 「平24.2まで」
	平成24年 4月 立命館大学非常勤講師(「生活S」,「生活科教育法」)「平25.2まで」
	平成25年 4月 1. 京都教育大学非常勤講師(「初等生活科教育法(b)」)「平25.7まで」 2. 立命館大学非常勤講師(「生活科教育法SA」)「平25.7まで」
	平成25年 6月 京都教育大学非常勤講師(「教育セミナー」)「平25.8まで」
	平成25年 9月 立命館大学非常勤講師(「生活S」)「平26.1まで」
	平成25年10月 京都教育大学非常勤講師(「初等生活科教育法(d)」)「平26.1まで」